

ファンドマネージャーからのメッセージ

当ファンドの基本戦略の特徴と今後の見通しについて

2020年2月14日

平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年3月31日で、当ファンド運用開始5周年を迎えることとなります。改めて、当ファンドの特色、運用状況、今後の見通し等についてお伝えさせていただきます。

基準価額・純資産・騰落率の推移

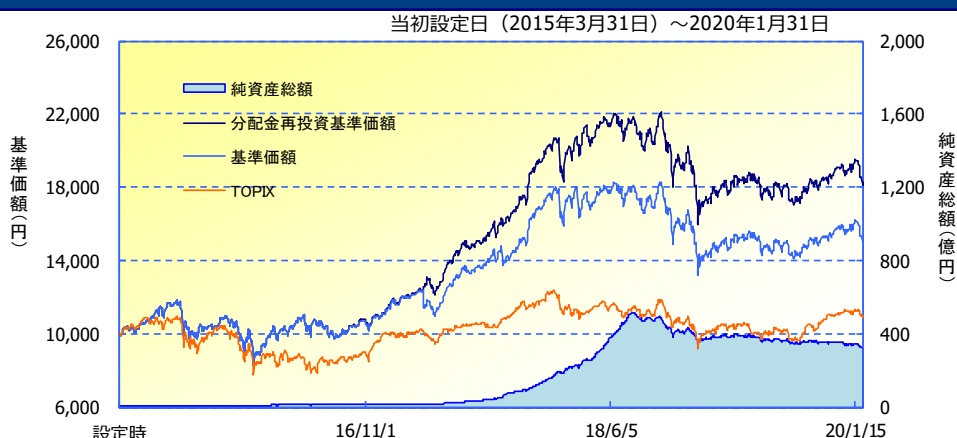
《基準価額・純資産の推移》

2020年1月31日現在

基準価額	15,110 円
純資産総額	318億円
TOPIX	1,684.44

期間別騰落率

期間	ファンド	TOPIX
1カ月間	-4.3 %	-2.1 %
3カ月間	-1.2 %	+1.0 %
6カ月間	+0.5 %	+7.6 %
1年間	+3.5 %	+7.5 %
3年間	+51.5 %	+10.7 %
5年間	----	----
年初来	-4.3 %	-2.1 %
設定来	+82.5 %	+9.2 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の月末までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

I 当レターの構成

当ファンドの基本戦略・運用スタイルの特徴について	P 2
ポイント①「女性の活躍」に着目	P 3
ポイント②安定成長株に着目	P 4
ポイント③大化け株の発掘	P 5
ポイント④中小型株に着目	P 6
当ファンドのパフォーマンスについて	P 7
2019年のパフォーマンスの振り返り	P 8
今後のマーケット見通しと運用方針について	P 9
今後のマーケット見通しについて	P 9
今後の運用方針について	P 9
今後の注目テーマについて	P 10
注目テーマ①ビューティー関連銘柄のポテンシャル	P 10
注目テーマ②ビューティーテック	P 10
注目テーマ③インターネット消費サービス	P 10

I 当ファンドの基本戦略・運用スタイルの特徴について

当ファンドでは、「女性の活躍」を日本株の成長テーマとして考えており、特に女性の消費に着目して投資を行うことが日本の勝ち組企業への投資につながると考えています。運用に関しては、外部環境に左右されにくく構造的要因により成長が期待される企業（安定成長株）、バリュエーションが割安で業績が好調な企業（割安好業績株）などを中心に投資を行いつつ、短期間（1-2年程度）で株価が2、3倍になるような企業（大化け株）を積極的に発掘するという運用スタイルで中長期的に運用成果をあげていきたいと考えています。

個別銘柄では、働き方改革で業績拡大が期待される人材関連銘柄、インバウンド需要や女性の社会進出で需要が高まると予想される化粧品などの美容関連銘柄、女性の健康と美容を支えるBeauty & Wellness関連銘柄、働く女性の時短ニーズに応えるインターネット消費サービス関連銘柄などに注目して投資を行っています。

上記の結果、当ファンドのポートフォリオの特徴については、大型株よりも成長余地の大きい中小型株のウエイトが高くなっていることや、新興市場の組入比率も一定程度あること、業種では外需よりも内需のウエイトが高くなっていることなどが挙げられます。

次ページ以降では、当ファンドの基本戦略・運用スタイルの特徴について、①「女性の活躍」に着目、②安定成長株に着目、③大化け株の発掘、④中小型株に着目の4つのポイントで詳述したいと思います。

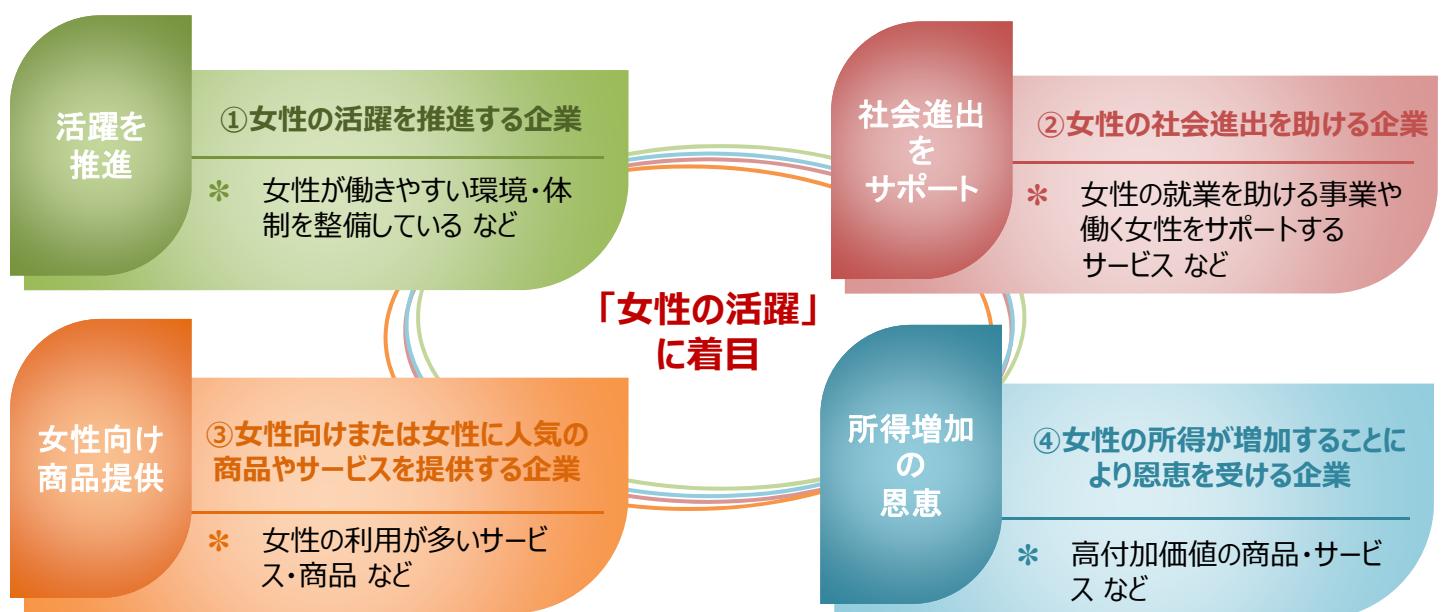
ポイント①「女性の活躍」に着目

当ファンドでは、「女性の活躍」を日本株の成長テーマとして考えており、具体的には、①「女性の活躍を推進する企業」、②「女性の社会進出を助ける企業」、③「女性向けまたは女性に人気の商品やサービスを提供する企業」、④「女性の所得が増加することにより恩恵を受ける企業」の4つの「女性の活躍」に着目しています。

①「女性の活躍を推進する企業」では、人手不足という構造的な問題を抱える日本においては、女性活躍に取り組む企業の方が優秀な人材を獲得しやすく、長期的な成長が期待できると考えています。近年注目が高まるESGの観点からも、長期的なトレンドとして、女性活躍に取り組む企業の方が投資家からの評価が高まりやすいと考えています。

②「女性の社会進出を助ける企業」については、少子高齢化による人手不足という日本最大の社会課題の解決に向けて、女性の労働力は必要不可欠であると考えており、事業環境として追い風です。

③「女性向けまたは女性に人気の商品やサービスを提供する企業」、④「女性の所得が増加することにより恩恵を受ける企業」では、「女性の消費」に着目しています。日本の女性は商品を見る目が厳しいと言われていた通り、日本の女性に人気のある商品は品質が良いため、今後高い品質を求めるようになるアジアでも需要が拡大する可能性が高いと考えています。日本企業が海外で成功するためには、このように日本の女性に磨き抜かれた商品が必要でしょう。また、男性よりも女性の方が新しいトレンドや流行に敏感であり、家庭の消費の決定権も女性が主導することが多いことから、女性のニーズを捉えることができる企業が業績を拡大していくと予想しています。



ポイント②安定成長株に着目

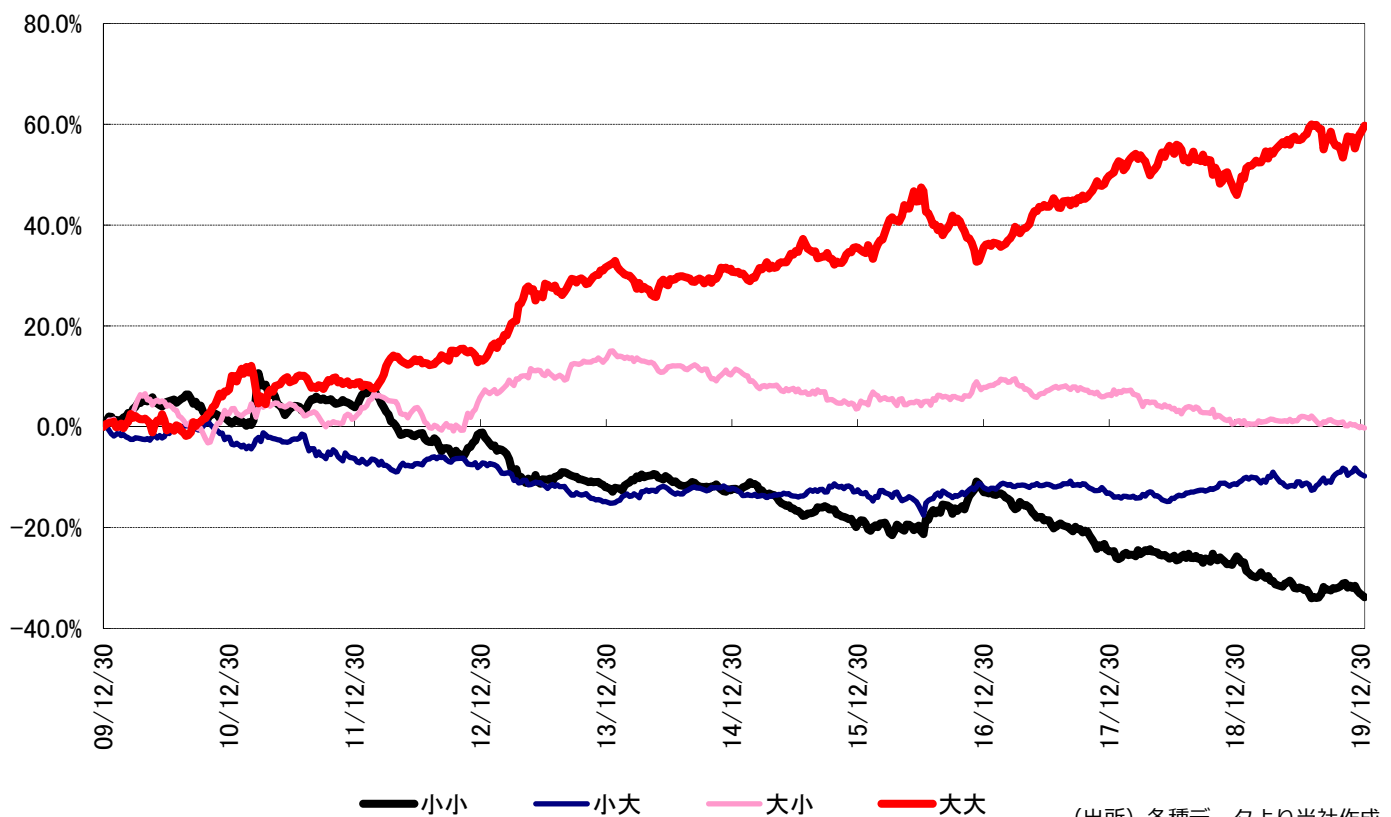
当ファンドの大部分は安定成長株で占められており、運用における中核となっています。短期的には浮き沈みはあるものの、長期的に保有し続けることで、安定的にリターンを獲得できると考えています。

当運用チームが着目する安定成長株の特徴は、構造的な要因による持続的な利益成長、競争優位性から実現される高いROEや利益率が挙げられます。下記の図表でお示しの通り、利益成長を持続し、高いROEを維持できる銘柄は長期的に高リターンを期待できます。

また、当運用チームでは、企業はESGに取り組まなければ、取引先、従業員、消費者、株主から選ばれない時代へ変わりつつあると考えています。長期的な成長の持続可能性（サステナビリティ）を見極めるためには、市場分析、ビジネスモデル分析等だけでは限界があり、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の要素、特に「女性の活躍」への取り組みも考慮することにより、安定成長株を見極める精度を更に高めることができると考えます。これらの「女性の活躍」をはじめとしたESGへの着目により、より長期的な成長の持続可能性をも考慮した銘柄選択を行っています。

予想経常利益成長とROEの双方が高位の銘柄のパフォーマンスは良好

（2009年12月30日～2019年12月30日までの10年間）



※TOPIXをユニバースとし、予想経常利益成長を3分位した後、その3分位した銘柄群をさらにROEで3分位に分類。

※予想経常利益成長とROEを組み合わせた銘柄群の単純平均リターンとTOPIXの単純平均リターンの差の累計値。

※小小＝予想経常利益成長が最も低い銘柄群とその中でROEが最も低い銘柄群の組み合わせ。

※小大＝予想経常利益成長が最も低い銘柄群とその中でROEが最も高い銘柄群の組み合わせ。

※大小＝予想経常利益成長が最も高い銘柄群とその中でROEが最も低い銘柄群の組み合わせ。

※大大＝予想経常利益成長が最も高い銘柄群とその中でROEが最も高い銘柄群の組み合わせ。

※上記シミュレーションは過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

計測期間が異なれば結果も異なることにご留意ください。

ポイント③大化け株の発掘

短期間（1-2年程度）で株価が大きく上昇する銘柄を「大化け株」と呼んでいます。株式市場では毎年株価が2倍3倍になるような銘柄が多く生まれております。このような銘柄に投資を行うことが株式投資の醍醐味であり、基準価額上昇に大きく寄与することで受益者の皆さまに貢献できるため、ファンドマネージャーにとって最もうれしい瞬間なのです。そして、より良い銘柄を選んで投資するアクティブ運用だからこそ、そのような銘柄に早期に投資できるチャンスがあります。

最近の「大化け株」の事例として、障がい者雇用支援サービスで業績を拡大し注目を集めているエスプールを挙げたいと思います。同社は、女性活躍推進法に基づき、女性活躍推進に関する状況などが優良な企業である「えるぼし企業」として認定されています。社会課題を解決する同社の事業への魅力とESGへの取り組みにより、人材採用においても有利になっているものと考えています。同社の主力事業は、コールセンター等への人材派遣サービスと障がい者雇用支援サービスとなっていますが、近年業績を拡大し注目を集めているのが障がい者雇用支援サービスです。日本の企業には、障害者雇用促進法で定められた一定数の障がい者を雇用することが義務づけられています。このような中、障がい者雇用に積極的に取り組む企業は増加していますが、雇用義務対象企業9.1万社に対し、半数が未達成という状況となっています。さらに採用は身体障がい者に集中しており、知的障がい者や精神障がい者の雇用ノウハウが不足していることから、雇用のミスマッチが多く発生しています。そのような中、同社は、知的障がい者や精神障がい者の雇用支援を得意とする「わーくはぴねす農園」を展開しています。企業に対して保有する農園を貸し出し、障がい者の採用・教育から定着までをワンストップで支援することにより企業から収入を得るビジネスモデルであり、国の補助金を使わずに成立していることも特徴の一つとなっています。同社の株価は、直近1年間で約2.5倍程度上昇しており、まさに「大化け株」としての投資成功事例といえると思います。

「大化けする」ということは業績が急激に拡大するということであり、業績が急激に拡大する企業には、世の中のトレンドを作り出す企業が多いように感じます。当ファンドの特徴の一つである流行に敏感な「女性の消費」への着目は、世の中のトレンドを見極める上で有効であると考えています。今後も、消費者の動向や社会の課題解決に着目し、世の中のトレンドを作り出す「大化け株」の発掘に努めたいと思います。



(出所) ブルームバーグ 大和投資信託

ポイント④ 中小型株に着目

当ファンドのポートフォリオでは、大型株よりも成長余地の大きい中小型株のウェイトが高くなっています。中小型株への投資は一般的に大型株と比較して制約があることから難しい領域とされています。担当アナリストが付いていない企業も多く、市場の認知度も低いことから、企業価値が正しく評価されていないケースが多く価格形成が不十分なことから、株価が大幅に上昇する銘柄の割合も高い傾向にあります。正しい企業調査を行えば投資妙味のある市場と考えています。

中小型株の魅力

① 安定成長株は中小型に多い

⇒日本の大型株は業績が景気動向に左右されやすい銘柄が多くなっていますが、中小型株には、持続的に成長する企業が多く存在します。

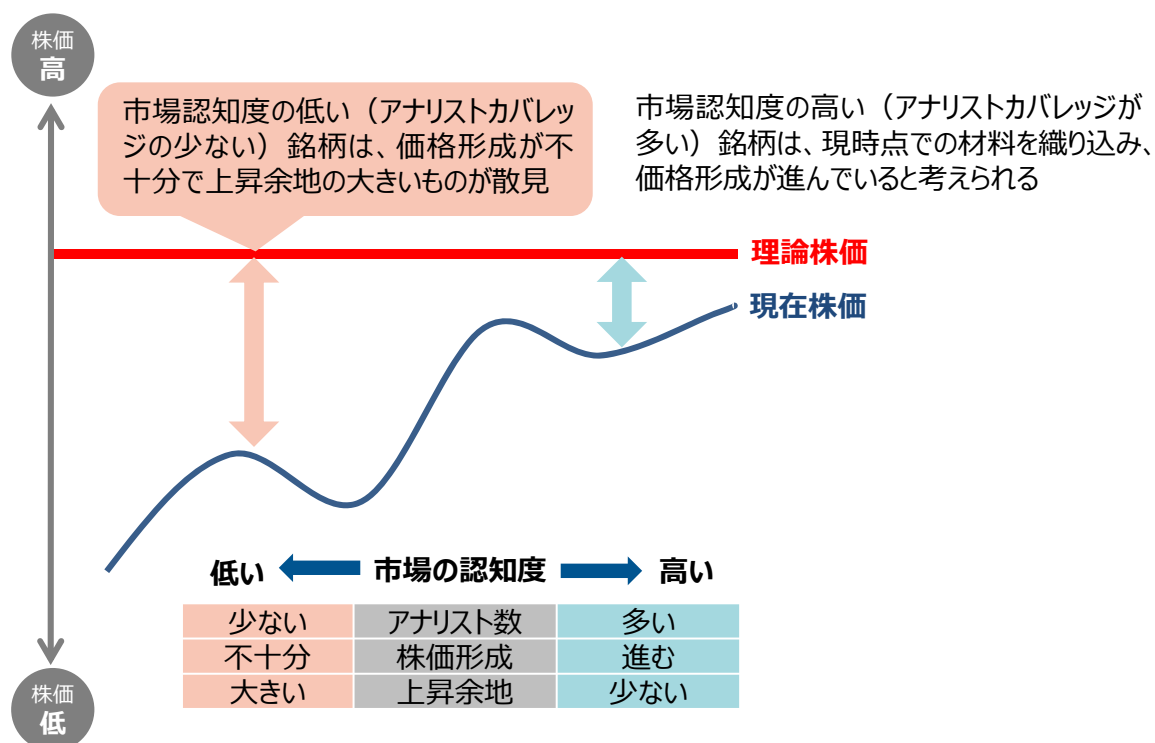
② 大化け株（急成長を遂げる）は中小型株が多い

⇒今後の成長余地、成長率を考慮すると、大型株よりも中小型株の方が高成長企業が多いと考えられます。

③ アナリストカバレッジが少なく認知度が低い銘柄が多い

⇒中小型株は、証券会社等のアナリスト・カバレッジが少なく、適正な株価から乖離している企業が多く期待リターンが高いと考えられます。

市場認知度と価格形成



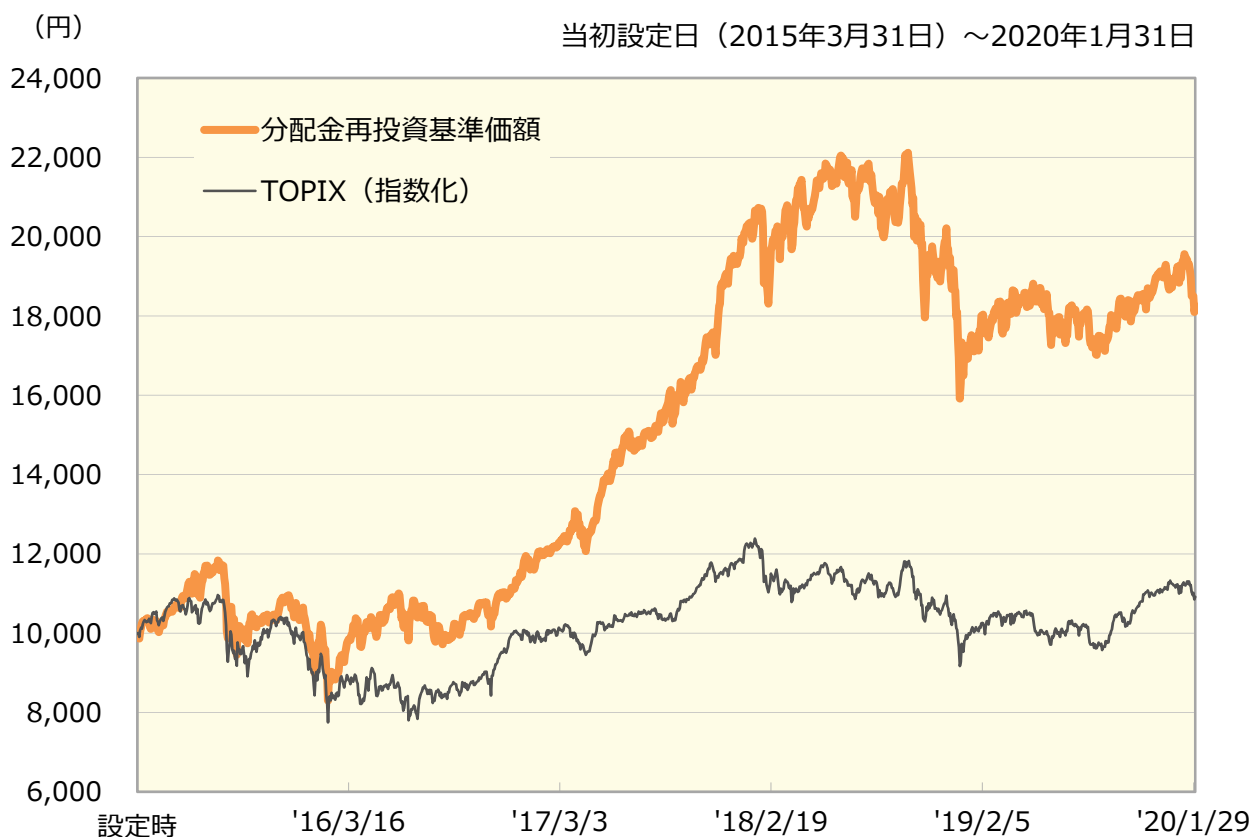
※上記は一般的な傾向を示したものであり、実際とは異なる場合があります。

当ファンドのパフォーマンスについて

当ファンドは、2015年3月31日に設定以来、82.5%のリターンを獲得しており、参考指数のTOPIXを73.3%上回っています。設定来において、良好なパフォーマンスを獲得しているところですが、2018年半ば以降はTOPIXを下回るパフォーマンスとなりました。

足元の運用状況において、皆様にご心配をおかけしていることもあると思いますので、昨年1年間のパフォーマンスについて、ご説明させていただきます。

設定来の分配金再投資基準価額とTOPIXの推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。
 ※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2019年のパフォーマンスの振り返り

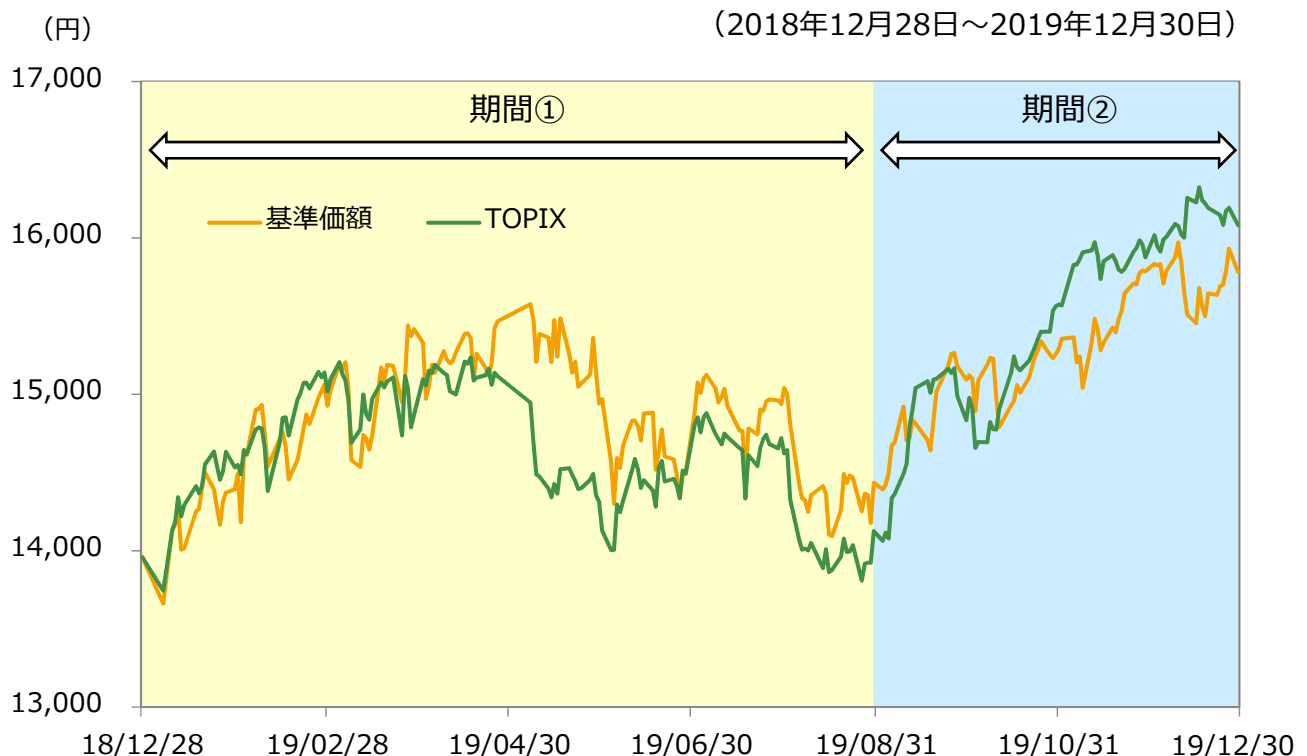
当ファンドにベンチマークは存在しませんが、参考指数としてTOPIXと比較した場合、当ファンドの当該期間における分配金再投資基準価額は13.1%の上昇となりましたが、同期間のTOPIXの上昇率を下回りました。

国内株式市場は、年初から8月末（期間①）までは、米中貿易摩擦の動向等により、一進一退の展開となりました。9月から年末（期間②）については、米中貿易摩擦の改善期待や、5Gへの期待などにより、上昇基調となりました。

当ファンドのパフォーマンスについては、期間①については、米中貿易摩擦の激化により、景気動向に左右されにくい安定成長株が選好される展開となったため、良好なパフォーマンスとなりました。

期間②については、景気回復期待から内需よりも外需が選好されたことや、5Gへの期待などで電気機器をはじめとするハイテク関連が相場の上昇を主導したことなどが、当ファンドの運用スタイルの逆風となり、上昇に出遅れる展開となりました。また、米中貿易摩擦激化による中国経済の減速懸念や、中国で2019年から代購業者を取り締まる新EC法が施行されたことなどにより、化粧品関連銘柄などの業績の伸び率が鈍化したこともマイナス要因となりました。さらに、組入上位銘柄について、先行投資の積極化など経営戦略を急転換した「イトクロ」や「アイスタイル」、サービスについて方針を転換したことによりアクティブユーザー数の増加率が鈍化した「エニグモ」など、成長が一時的に踊り場になったこともマイナス要因となりました。株式市場が大きく上昇する局面においては、成長が一時的に踊り場になった銘柄は、相対的に注目度が低下するため上昇に対して出遅れる傾向があります。なお、長期的な見方に変化はなく、一時的な成長鈍化だと判断している銘柄についての保有は継続していく方針です。

2019年の基準価額とTOPIXの推移



※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

Ⅰ 今後のマーケット見通しと運用方針について

今後のマーケット見通しについて

現状の相場環境については、1月の株式市場は、中国で新型コロナウイルスの感染が拡大していることが懸念され下落しました。サプライチェーンに与える影響の懸念などもあり、短期的には不安定な局面になる可能性があります。次第に落ち着きを取り戻すと想定しています。新型コロナウイルスの影響については、当ファンドには逆風ではありますが、業績への影響が軽微である長期的に有望な銘柄については、大きく下落した局面で押し目買いを行い、新型コロナウイルスの収束と株価の回復を待つスタンスで臨みたいと考えています。短期的な相場動向には左右されず、従来通り、当ファンドの運用方針に沿って運用を行っていく方針です。当運用チームでは、成長市場でビジネスを行い、競争優位性を有する安定成長株を中心に投資を行っているため、仮に、短期的に相場環境が悪化したとしても、中長期的には、着実な投資成果の獲得を目指せるものと考えています。

今後の運用方針について

「女性の活躍」、「中長期での利益成長」に着目した銘柄選別は、当ファンドの一貫した運用手法です。「女性の活躍」は政府が取り組む政策であり、人手不足という構造的な問題を抱える日本において重要性が高いと考えています。「中長期での利益成長」については、マクロ環境を当て続けることは非常に難しいため、構造的な要因により成長が期待できる企業を中長期で保有する方針です。長期的には、外部環境に左右されやすい景気敏感株が多い大型株よりも、成長余地の大きい中小型株の方が利益成長が期待できる企業が多いため、今後も積極的に中小型株に投資を行っていく方針です。

相場の状況により短期的には浮き沈みがあるものの、今後も従来通りの運用手法を継続し、中長期で皆様に良好なパフォーマンスをご提供することを目指していきます。一日でも早く基準価額最高値を超えられるように、日々頑張っていきたいと思っております。

Ⅰ 今後の注目テーマについて

注目テーマ①ビューティー関連銘柄のポテンシャル

訪日外国人観光客（いわゆるインバウンド観光客）は平成期を通じて増加傾向を示しており、特に2011年を境に急増しています。インバウンド消費（訪日外国人消費額）は、宿泊、移動交通、買い物、飲食、娯楽などを合計すると、2018年には4.5兆円となっており、そのうち約35%が買い物代です。買い物代のうち、費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「化粧品・香水」（41.6%）と菓子類に次ぐ高さとなっており、購入単価（その費目を購入した人における当該費目の1人当たり平均支出）も約3万円と比較的高額です。政府でも外客招致に力を入れており、インバウンド消費の目標として、2030年に15兆円を目指しています。（出所：観光庁などの日本政府資料）

インバウンド需要も取り込むことが期待できる化粧品などの美容関連銘柄は、足下の株式市場ではやや低調となっている状況が続いていますが、中長期的な成長テーマとして再度注目される局面が来ると考えています。特に、中国の化粧品市場は、近年では年率平均2桁程度の高成長を続けている魅力的な市場です。また、当運用チームでは、日本と中国の一人あたり化粧品消費額を分析した結果、2倍以上に拡大する余地があると考えています。したがって、今後の成長余地からみても魅力的であると考えています。（出所：中国国家统计局などを参考に当運用チームで推計）

今後の銘柄選択の視点としては、中国におけるブランド力、越境ECや現地店舗などの販売体制に着目していきます。新EC法の影響で、日本での「化粧品・香水」の購入率が下がった場合でも、品質の高さを現地で認知してもらうことで、中国化粧品市場の高い成長率を享受できると考えています。

注目テーマ②ビューティーテック

美容にテクノロジーを活用したビューティーテック元年と言われたのは2018年でしたが、2019年は、大手化粧品メーカーがビューティーテックを活用したサービスを開始しました。具体的には、資生堂のオプチューン、花王のファインファイバーなどです。このような新しい取り組みが、高付加価値品として、消費者に受け入れられていくのかに注目していきたいと思います。

注目テーマ③インターネット消費サービス

女性の社会進出が進み、子育てをしている女性が育休後に仕事に復帰すると、従来よりも自分のために使える時間は短くなることは明らかです。したがって、働く女性にとってニーズが強いものの一つに時短に対するサービスが挙げられます。時短に対するサービスには、料理キットやフードデリバリーなどが代表的なものとしてありますが、インターネット消費もその一つだと考えられます。子育てと仕事を両立している女性は、外出できる時間が限られているため、外出する時間を短縮できるECに対するニーズは強いものと考えられます。コンビニ、スーパーなどは自宅の近くにあることも多いかもしれませんが、特にファッションに関しては移動時間が長いことも多いため、女性の社会進出によってファッションのEC化率は上昇していくことが期待されます。

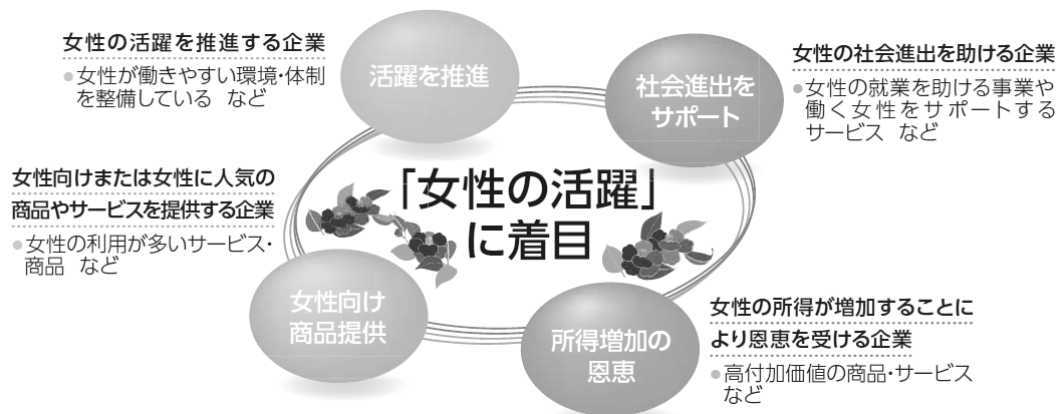
Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式の中から、女性の活躍により成長することが期待される企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「女性の活躍」に着目して投資候補銘柄を選定します。



2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行ない、投資魅力の高い銘柄を選定します。
 - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは「女性活躍応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「特定の業種への投資リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉2.2%（税抜 2.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.595% （税抜 1.45%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号				
足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第144号				
飯田信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号				
いちい信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第25号				
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○	○		
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号				
大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第47号	○			
帯広信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第15号				
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○	○		
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号				
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○			
さがみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号				
佐野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第223号				
さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○			
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○			
しののめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十八銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第2号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○		
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
諏訪信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第255号				
瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号				
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号				
西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○		
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○	○		
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○		○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。